

貴重な民具、魅力知って

代

CNA
西村さん 油谷さんの収集品紹介

能

秋田市の収集家、油谷満夫さん(91)が集めた民具や歴史的資料の魅力を学ぶ講演会が6日、能代市中央公民館で開かれ、CNA秋田ケーブルテレビ(秋田市)リポーターの西村修さん(70)が「収集品の中には貴重な文化財もあり、大学や博物館などで研究に生かしてほしい」と語った。

油谷さんは70年以上にわた

り民具や雑貨、玩具など約50万点を収集。このうち約20万点は寄贈を受けた秋田市が「油谷これくしょん」として

公開している。秋田魁新報社元編集委員の西村さんはCNAで油谷さん取材し、番組を制作。同局のユーチューブチャンネルで見られる。

講演では油谷さんの収集品の中から、北前船関連の書状や秋田魁新報の前身「遐邇新聞」、秋田市の資産家・平野政吉と画家・藤田嗣治の交遊を物語る写真などを紹介した。

油谷さんの収集品への思いについて「暮らしに密着して見過ごされがちなものを残すことにこだわり、しまい込まず手で触れることに価値を見いだしている」と語った。

NPO法人アーツセンターあきた(秋田市)が、油谷さんの収集した民具を分類整理するプロジェクトを進めていることも紹介。「未公開の収集品に光が当たるきっかけになればいい」と期待した。

講演会は有志による団体「市民おもしろ塾」が主催し、約20人が聴いた。(佐藤辰)



油谷さんの収集品をテーマにした講演会